

むいかまち こぐりやま
国道17号六日町バイパス(小栗山地区)が10月31日(土)に開通します。

みなみうおぬま
 ～ 11月1日開院予定の南魚沼市民病院を支援！～

長岡国道事務所で整備を進めている国道17号六日町バイパスのうち南魚沼市小栗山地区の約0.7km^(※)の区間が**10月31日(土)に開通**することとなりましたのでお知らせします。

なお、開通する時間や開通記念式典については、後日お知らせします。

(※) 六日町バイパスの整備により、付け替えを行う市道野際病院線の延長を含む

○今回の開通による主な整備効果

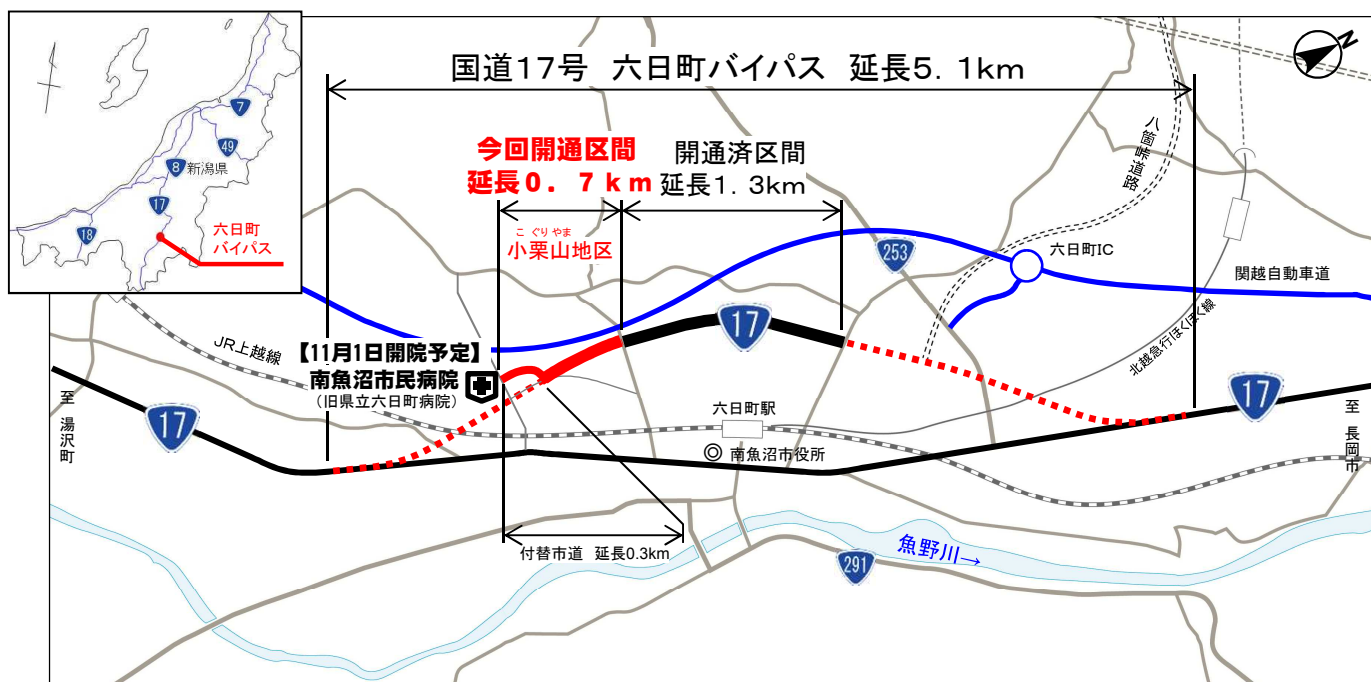
【効果1】医療活動を支援します

みなみうおぬま むいかまちせいぶ
 南魚沼市六日町西部地域から南魚沼市民病院 (H27.11.1開院予定) へスムーズにアクセスできます。

【効果2】災害時における交通確保

豪雨等災害時の代替路としての機能が高まります。

- ・引き続き、全線開通による南魚沼市内の交通混雑の解消、医療活動支援に向けて、事業を推進して参りますので、事業へのご理解・ご協力をお願いいたします。



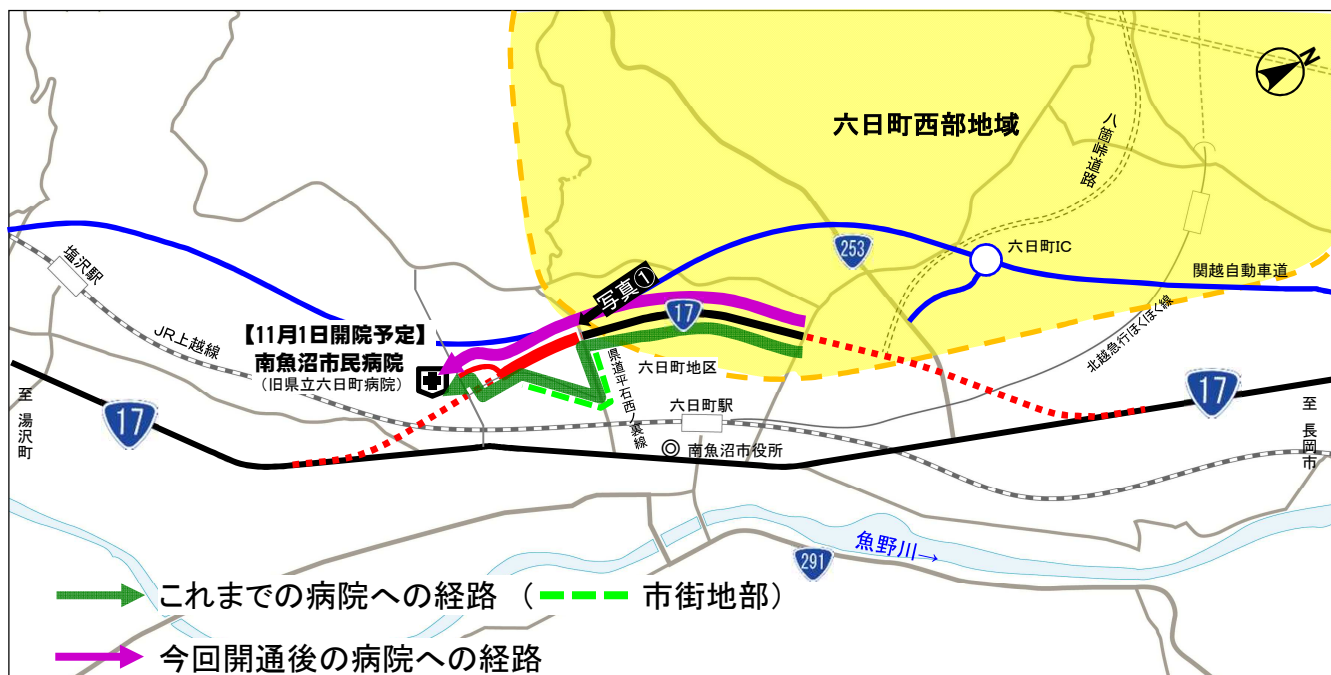
お問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局 長岡国道事務所 調査課長 嶋倉 正幸
 [電話] 0258-36-4582 [FAX] 0258-34-3186

今回の開通による主な整備効果

効果1 医療活動を支援します

- ◆ 魚沼地域の医療再編として、平成27年11月1日に、これまでの「県立六日町病院」が地域医療を担う「南魚沼市民病院」として生まれ変わります。
- ◆ これまでは南魚沼市内の六日町西部地域から南魚沼市民病院建設地までは走行速度が低く混雑する市街地部を通過する必要がありました。
- ◆ 今回の開通により、市街地部を通過せずスムーズに南魚沼市民病院へアクセスすることが可能になります。



六日町西部地域から病院までスムーズに！

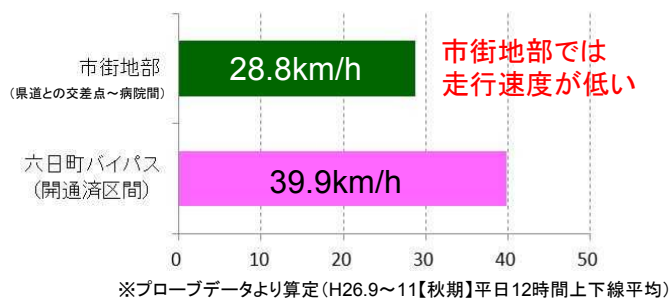
■ これまでは

- ・走行速度の低い市街地部(家屋連担部、及び沿道乗り入れの多い区間)を通過する必要がありました。

■ 今回開通後

- ・市街地部を通過せずスムーズに病院へアクセス。

＜市街地部と六日町バイパスの走行速度＞



南魚沼市民病院 <11月1日開院予定>



南魚沼市民病院の完成イメージ(南魚沼市提供)



【写真①】六日町バイパス開通済区間から南魚沼市民病院を望む

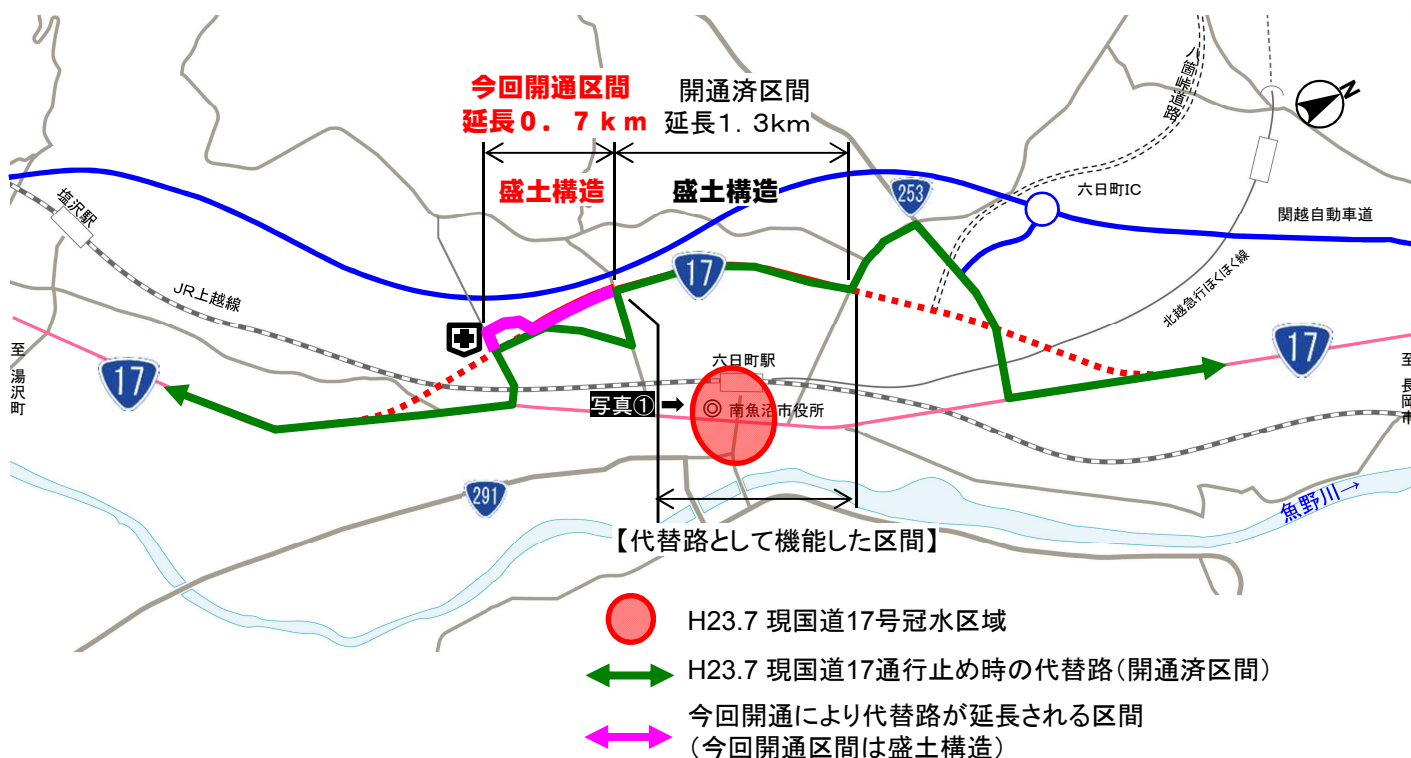
今回の開通による主な整備効果

効果2 災害時における交通の確保

- ◆ 六日町バイパスは道路冠水の恐れが低い盛土構造です。平成23年7月新潟・福島豪雨時において、現国道17号では冠水により通行止めが発生しましたが、六日町バイパスの開通済み区間では冠水せず代替路として機能しました。
- ◆ 今回の開通により、豪雨等災害時の代替路としての機能が高まるとともに、災害時における南魚沼市民病院への信頼性の高い道路が確保されます。

【H23.7豪雨時迂回路】

○国道17号の通行止め時六日町バイパス(開通済み区間)が代替路として機能

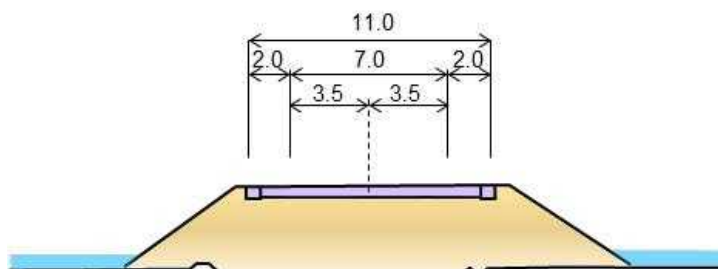


■平成23年7月の冠水状況



【写真①】現国道17号の冠水状況
南魚沼市六日町地先(7/30 7:30頃)

■浸水発生時の六日町バイパスの状況(イメージ)



盛土構造であるため、平地で浸水が発生してもバイパスは通行可能